



2016.2.7 堅信式

聖霊よ、来てください

助任司祭 楊成源

聖書の中には色々な箇所です。聖霊についての出来事が描かれています。旧約聖書では、神は先祖アダム、ノアの鼻に命の息を吹き入れられたと述べられています（創世記2・7）。ここで、先祖アダムはこの息によって生きるようになりました。ここでは、先祖アダムは動物のように本能的に生きるのではなく、神の霊によって生きているという意味が含まれています。つまり、人間は聖霊の恵みによって生きているということです。新約聖書では、イエスの誕生に際して、聖霊によって身ごもり、胎の子は聖霊によって宿ったのである（マタイ1・20）と語られ、またイエスが洗礼を受けた時、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降ってきた（ルカ3・21）と述べられています。つまり、聖霊は父と子とそれぞれの働きを持ち、互いに交わりを持っているのです。

父である神はこの世を創造され、子であるキリストはこの世を救われ、そして聖霊はこの世を導いておられます。聖書の中には様々な出来事を通して聖霊の働きとその大切さが強調されています。イエスが昇天された後、五旬祭の日、使徒たち一同が一つになって集まっていた時、聖霊は来られて、家と彼らを満たされました（使徒2・11）。使徒は聖霊によって新しい人となつて、新しい使命を受けました。彼らは勇気を持って、閉められた戸を開けて外に出かけて、人々が分かるような言葉で神の福音を伝え始めました。こうして聖霊の恵みで使徒たちは神の福音の証人になったり、神の救いの業に参加したりすることになりました。

そして、私たちも同じように、堅信を受け、聖霊の恵みによって、勇気を持ちながら神の救いの業に積極的に参加することが出来ます。聖霊は私たちの保護者となり、信仰生活の原動力になります。特に、私たちが弱い時、困難や悩みがある時に、神を賛美しつつ、聖霊の導きによってキリストの生きている証になることが出来るのです。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

堅信式感想文

ヨセフ 井上芳隆

「神の存在」を自らの体験から教えてくださった松浦悟郎司教様、堅信準備講座で、これから生きていく指針となる多くのことを教えてくださったボクダ・ノヴァク神父様、そして、いつも優しく見守ってくださいている神戸六郎代父様に、心から感謝申し上げます。

堅信の秘跡を受け、明日からの生き方を急に変えることはで



2016.02.07 堅信式ミサ 司式：松浦悟郎司教

きませんが、神の存在と聖霊を信じ、信仰をより深めようと決意し、心が豊かになったような気がする堅信式となりました。

モニカ 安藤 えり子

私にとって受洗から堅信までの間は、今までの考えや行いを見つめ直す日々でもありません。

ここまで、いろいろな教えに導いて下さった神父様、教会で出会えた方々に支えて頂き感謝しています。

思いを新たに歩み始め、このお恵みを頂いたことへの感謝を忘れず、少しでも多くの手助けが出来るように努めて参ります。

エリザベス 長谷川 美智子

私の南山教会初の御ミサの日、祭壇にいつくしみのイエス様の御絵が有りました。ボクダ神父様からカトリックの信仰を御教示頂き、受洗と堅信。あつと云う間の一年十ヶ月。神のいつくしみの主日に始まり、いつくしみの特別聖年にミカエル松浦悟郎司教様に堅信の秘跡、聖霊の恵みを授かり聖香油



の学びから「私はAでありΩである」神様を信じます。許されるならば、自らをカトリックアイデンティティーと答えたいです。

新年会、楽しかったです！

マリア会 井爪 光子

開かれたマリア会を願った昨年度に続き、今年度の新年会もマリア館ホールで集いました。信徒協の講演会で「カトリックは食の宗教」と、聞いて、テーマを「共に作り共に食す」としました。料理し共食できるのは人間だけだそうです。「最後の晩餐」という食卓の再現であるミサで、霊的生命的糧をいつも頂く感謝を、食物で分かち合いたいと願い、持ち寄りを提案しました。

珍らしく、おいしく、心のこもった4人の神父様のお国料理、担当班の用意したものに加え、班或は個人でお持ち頂いたものでテーブルもお腹もイッパイ、その上お持ち帰りまで。本当に豊かでした。

解けて、聖霊のみ働きをマリア様と聖人のお取次の祈りから神様の御臨在と察知し号泣。堅信



でなく、手作りや持ち寄り等骨折って頂いたお蔭で、会費の3分の1を教会と東日本復興支援に献金することもでき感謝でした。

ボーイ新春の餅つき大会

伊藤 宗太郎

教会のボーイ97団は去る1月10日(日)に新春の餅つき大会を開催した。スカウトたちがあらためて新年を寿ぎ、教会や近隣の人々と親睦を深める恒例のイベントだ。

当日は朝から曇天だったが、温かく子供たちは元氣よく教会中庭に集まってきた。冷たい石臼を温めるお湯を沸かすためお鍋をかまどにかけて、どんどんと薪をくべた。煙にむせながらその焚き火に暖まって、にぎやかに慎重な手つきで包丁を持ち、野菜を切り裂いた。スカウト訓練の一環だが、大根おろしと雑煮用の料理準備だ。

お母さん方は教会各部屋に分散して餅米を蒸す炊飯器を4台並べた。蒸し器が集中すると電気のブレーカーが飛ぶのを警戒していた。

10時半、ミサが終わる前に

ペツタン、ペツタンと餅つきが始まった。タイミングが速すぎたが、子供たちはビニール手袋をはめてお餅を丸め始めた。黄な粉餅、大根下ろし、雑煮などの美味しいお餅が次々と出来上がった。丁度11時から教会信徒の運営委員会が始まっていたので急いで接待用の黄な粉餅を作った。

オイシイ!温かい!などの好評を受けてお昼までに5臼(10升)もついてしまった。大成功!集まりの輪にこやかな会話や笑いがはじけ、餅つき大会の意義を十分に果たした。ヨカタ!



2016.01.24 ヨセフ会新年会

キリスト者の祈り (2)

主任司祭 B・ノヴァク神父

キリストの名によって祈る

イエス・キリストは、弟子たちに向かつて祈りについて語られたときに、「ご自分の名によつて祈る」ことの重要性を強調しておられました。「あなたがたがわたしの名によつて何かを父に願うならば、父はお与えになる。今までは、あなたがおはわたしの名によつては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」(ヨハ16・23-24) 残念ながら、多くのキリスト者がこの言葉を誤解して、「キリストの名によつて祈ります」という言葉を自分の祈りに付け加えておけば、必ず自分が求める通りになると思つておられる。つまり、この言葉には、何らかのマジック的なパワーがあるかのように考へているということになるでしょう。けれども、イエスの教えやキリスト者の信仰は、マジックと何の関係もないのです。キリスト者の信仰と同時にキリスト者の祈りの本質は、自分の望みをかなえるための何ら

かのパワー、非人格的な力ではなく、キリストとの、また、キリストによる父である神との人格的(ペルソナ的)な関係なのである。

聖書において「名というものは、その人の本質、その人自身、その人の生き方を表します。」(カトリック教会のカテキズム203) 「イエス・キリストの名によつて語る」とは、

「イエス・キリストの名によつて語る」とは、自分の勝利なことを願うのではなく、自分の心や思いをイエスと一つにして、イエスご自身が求めることを求めて祈ることです。ですから、イエスの名によつて祈るために、イエスに倣つて、イエスが祈ったように祈る必要があります。したがって、イエスに向かつて、「わたしたちにも祈りを教えてください。」(ルカ11・1)と願うのは、祈りの言葉を教えていただくことというよりも、祈りの模範を示して

イエス・キリストの模範

福音書が表しているイエスの祈りの姿を見ると、イエスが一人で祈ることがあれば、ご自分の弟子やユダヤ教の信徒という共同体と一緒に祈ることもあつた、他人のために祈ることがあれば、自分のために祈ることもあつたということが分かります。イエスは一日中働いて、非常に疲れていても、夜誰もいないところに行き、一人になつて、徹夜して祈るところを見て、イエスにとつて祈りは、安らぎの場、力の源であつたといふことが分かります。また、多くの弟子の中から十二人の使徒を選ぶという重要な決断をする前にも、皆が寝ているときに祈られたところを見ると、イエスにとつて祈りは、正しい決断をするための知恵の源、また、父である神の望み、神の導きを見分ける場所であつたといふことも分かります。

殆どの場合には、イエスが祈つたといふことしか伝えられない。イエスが祈る前に、ゲッセマネの園でのイエスの祈りの内容、イエスが言われた言葉が伝えられています。この祈りは、イエスの祈り方を知るために特別に大事なものであるのです。福音記者聖マルコは、この言葉を次のように伝えています。「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになりません。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」(マコ14・36) この言葉から、イエスの祈りの対象が分かる。「アツバ」と呼ばれます。「アツバ」ということは、幼い子どもが自分のお父さんに対して用いた言葉で、「パパ」に当たる言葉です。ですから、この言葉をもって神に向かつてイエスは、小さい子どもが自分のお父さんを絶対的に信頼しているように、父である神を絶対的に信頼していたこと、また、神との非常に親しい関わりをもって、親密の内に神と接していたといふことが分かります。同時に、イエスにとつて神は、「何でもおできになる」方、つまり全能者、また、絶対者であつたとい



うことも分かります。「この杯をわたしから取りのけてください。」という言葉を通して、イエスは自分の本心をありのまま表現しています。つまり、詩編やイザヤ書に詳しく描かれていた苦しみと残酷な死を非常に恐れていて、これを避けたいという自然な望みを父である神に伝えていきます。多くのキリスト者が、日常的な悩みを置いておいて、何の悩みや怖れなどがないかのように、何の雑念もない静かな心をもって神の前に立つことが理想であるようですが、イエスは、自分の祈り方を見ると、イエスは、自分の悩みや怖れなどを祈りの「材料」にしておられたということが分かります。つまり、イエスは、何らか

の教えや思い込みに従って、神の前に「あるべき姿」を見せていたのではなく、神の前に自分の気持ちや正直に表し、ありのまま自分の姿を見せていたということです。

けれども、イエスは、自分の気持ちとそれに基づく自分の願いを正直に伝えてから、それに頑固に拘るのではなく、「しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」という言葉を付け加えて、自分の望みを満たすことよりも、父である神の望みで満たされることの方が重要であり、自分の望みの実現よりも、神の望みの実現を強く求めているということを表現されるわけです。イエスがこのように考えられていたのは、ご自分のことを愛しておられる上に、正しいことを間違えなく知っておられる神の導きに従うことは、最も賢明なことであるという確信を持っておられたからでしょうが、それだけではありません。ご自分の意志よりも、父である神の意志を優先して、自分の意志や自分の望みを神のみ旨に合わせました。イエスは、この理由をい

ろいろな仕方でもたびたび表していました。ヨハネによる福音書に書き記された言葉、イエスが父である神に向かつて語られた言葉が、その一つです。「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」(ヨハ17・21)

考えてみれば、イエス・キリストの最も大切な宝とは、やはり父である神の愛であったし、この愛による神との繋がりを何よりも大事にしておられる。この愛の絆の完成である神との一致は、人生の目的であり、最高の幸福であるという確信をもって生きていました。また、イエスは、愛における神との交わりと、その完成を自分自身に愛しておられたすべての人のために、切に求めておられたのです。神ご自身によって救い主としてこの世に遣わされた自分が、どんな状況においても神の愛に忠実に生き、神との愛の交わりを保つならば、人間として

その完成に永遠にあずかるようになるのみならず、神との愛の交わりに生きること、さらに、その交わりの完成にあずかることは、すべての人にとって、可能になるという確信を持っておられます。したがって、イエスは、自分のためだけではなく、すべての人のためにも、自分の意志や望みを神のみ旨に合わせられていたのです。それは、決して簡単なことではありませんでした。ヘブライ人への手紙の中で書き記されていることばが、その大変さをよく表しています。「キリストは、肉において生きておられたとき、激しい叫び声をあげ、涙を流しながら、御自分を死から救う力のある方に、祈りと願いとをささげ、その恐れ敬う態度のゆえに聞き入れられました。」(ヘブ5・7)

以上の考察をまとめると、イエスにとつて祈るとは、自分を愛しておられる父である神との完全な一致を目指して、神と対話すること、交わること、コミュニケーション(この言葉が由来しているラテン語の言葉は「他人と自分を分かち合う」という意味をもつ)をすることであつたと言えると思います。

2月14日

司祭団より

来年度の行事予定表案について変更などありましたら、赤字で訂正して事務所に提出してください。

報告・連絡事項

新任委員長選出の報告

新しく委員長に選出された方（マリア会、ヨセフ会、各種団体）は、運営委員会出席者名簿に記入してください。今後の連絡に必要なメールアドレス等も連絡ください。

ヨセフ会については、現時点で決まっていない。協議中です。

マリア会は、9班から選出されます。

1月10日城東ブロック会議報告

（信徒協委員）

東日本大震災の犠牲者追悼と復興を願うミサが3月11日布池教会で行われます。

2月7日堅信式

（司祭団、典礼委員会、中高生保護者会）

20名の方が堅信の秘跡を受けられました。おめでとうござい

ます。

堅信を受ける方が、ルルドの場所がわからなかったなどの問題があった。

スケジュールは渡してあるが、実際にわからなかった人が少数いました。

2月10日（水）灰の水曜日

（司祭団、典礼委員会）

朝7時のミサが20数人、夜19時が百数十人の参加者でした。倉庫の中の椅子の収納棚

（営繕委員会）

マリア館1階倉庫の椅子の棚を営繕委員会に作っていただきました。

その他

マリア会…

信徒協研修会が2月27日に開催されるので、平尾さんと井爪さんが出席する予定。

マリア館のエレベーターが設置20周年のため、メーカーからのプレゼントとして、サイクロン式掃除機を選ぶことにした。

3月4日 品田神父様の講演会がある。「パラグアイの宣教活動を通し、自分自身が体験したこと」

オルガン管理委員会

中高生対象（大学生も可）です。

21日（日）11時より「パイプオルガンの集い」を聖堂にて行います。

信徒名簿について

現在はPCのデータでの管理になっていきます。

事務所に聞いても個人の連絡先は教えないようになっていきます。

現在は、月報に名前が載り、紙媒体での配布とウェブサイトで閲覧が可能になっています。

個人情報管理については、実際の被害は出ていないし、意見も多数出ているわけではないので今のままで良いという意見が出た。

予算書、決算書を月報及びインターネットにて公表するかについて及び、必要性などについては主任司祭が調べます。

3月27日 ご復活

各委員会との連携を再確認する。

その他

営繕委員会

・南山教会全体の電気料金について、従来通り中部電力にするのか、東邦ガスに変更するの

を3月の運営委員会で最終確認する。

・マリア館の空調設備更新につ

決済、予算関連をインターネットに載せる必要性があるのかを確認する。

四旬節中の行事について

昨年は、パウロ修道会の鈴木神父様による黙想会がありました。

今年は、ブルーノ神父様に黙想会を開催していただく。3月12日（土）と13日（日）。

3月20日 枝の主日

各委員会との連携を3月度運営委員会にて再確認する。

聖木曜日、聖金曜日、復活徹夜祭

洗礼志願者数、奉納、献金他、各委員会との連携を再確認する。

3月27日 ご復活

各委員会との連携を再確認する。

その他

営繕委員会

・南山教会全体の電気料金について、従来通り中部電力にするのか、東邦ガスに変更するの

を3月の運営委員会で最終確認する。

いて、電気、もしくはガスの導入を3月の運営委員会で最終確認する。今後の予定としては3月中に発注し、4月又は5月の空調を使わない時期に工事を実施する予定。

各会報告

典礼委員会

2月7日 堅信式 松浦司教による

2月11日 名古屋教区典礼研修会に40名程度の参加がありました。

2月21日 定例会議

2月28日 第一回侍者集会
(今後偶数月に開催)

レジオマリエ

定期的に典礼聖歌集の補修をしている。

教会学校

2月21日 いくしみの特別聖年に因み、布池教会へ巡礼。ゆるしの秘跡を学びロザリオを祈ります。

次回は3月6日

ボーイ冬山でスキー訓練

伊藤 宗太郎

ボーイ97団は1月22日から23日、24日にかけて岐阜県

「朴の木平」にスキー訓練に出かけた。観光バス1台と自家用車1台で、教会の97団15名と友団の8団10名総勢35名がニコニコ、ワイワイと出発した。折から大学生スキーバス転落事故が発生し、交通事故を心配したが、無事スキー場に到着した。

現地では数日前から雪不足に悩まされていたが、寒波の来襲で幸運に大雪が降った。当日は晴れたり曇ったりの天候だったが、スキーには絶好な日和だった。雪質もよく、大量に積もっていたので、子供たちはキャーと歓声を上げてゲレンデに飛び出した。みんな識別用にゼッケンを着け、スキー熟練度を初級、中級、上級に分けて、滑り方をインストラクターから指導を受けた。

昼飯にはカツカレーや牛丼を美味しく食べ、豪快にスキーを楽しんだ。最終日には猛烈な吹雪と寒さに見舞われ、早々にスキー訓練を切り上げた。24日夜渋滞に遭遇しイライラしたが、全員がスキーの醍醐味に満足して南山教会中庭に帰ってきた。オモシロカッタネ!

カトリック教会のカテキズムより

2561 「あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を与えたことであろう」(ヨハネ4,10)。逆説的なことですが、わたしたちの懇願の祈りは、実際は一つの応答なのです。すなわち、「わが民は……生ける水の源であるわたしを捨てて無用の水溜めを掘った」(エレミヤ2, 13)と嘆かれる生きておられる神への応答、救いの無償の約束への信仰の応答、御ひとり子の渴きへの愛の応答にほかなりません。

祈りは契約

2562 人間の祈りはどこから出てくるのでしょうか。祈りの表現(動作やことば)がどのようなものであろうと、祈っているのはその人そのものです。しかし聖書は、祈りがほとぼしり出る場として、魂や精神、そしてもっとも頻繁に(千回以上)心を挙げています。祈るのは心です。心が神から離れているならば、祈りのことばはむなしいものです。

2563 心とは、わたしが常駐するところ、わたしが住まう住宅(聖書のヘブライ語的な表現に従えば、「わたしが戻ってくる」ところ)です。それは、自分の理性にも他人の理性にも把握しがたい、わたしたちの秘められた中心です。ただ神の霊だけが、それを探り知ることがおできになります。心は、わたしたちの心理的な傾向よりももっと深いところにある決断の場、生か死かを決めるぎりぎりの場なのです。神の似姿である人間が神と真正面から見つめ合う場、つまり、契約を交わす場です。

南山句会

平成二十八年一月十三日



老猿の背の丸きこと焚火かな

豊子

カテドラル聖なる扉淑気みつ

聖子

新年の祈りの集ひ皆笑顔

せつ子

振り袖の娘の未来なり成人式

眞喜子

山茶花の丸く刈られて離なす

とく子

薄紅の帛紗新たに初稽古

公子

初鴉ポルシェ後追ふ旧街道

一藤

一礼はルルドマリアに初句会

義子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

転入 ようこそ

アンナ・セシリア かたやま ももこ 片山 桃子 (多治見教会)

マリア かおる りほ 薫 理穂 (恵方町教会)



2016.2.7 聖信式

教会維持費

1月は865,100円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2016年2月・3月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月	10(水)灰の水曜日(大齋小齋) 14(日)四旬節第一主日	7(日)9:30聖信式・日英合同ミサ 14(日)洗礼志願式	5(金)マリア会例会(懇談会) 14(日)11:00運営委員会 20(土)10:30子ども部屋 20(土)要約筆記付きミサ 21(日)ヨセフ会班長会 21(日)典礼委員会	四旬節愛の献金(四旬節中) 18(木)司祭協議会 25(木)司祭評議会
3月	聖ヨセフの月 19(土)聖ヨセフ 24(木)聖木曜日(主の晩餐) 25(金)聖金曜日(主の受難・大齋・小齋) 26(土)聖土曜日 27(日)復活の主日	6(日)子どものミサ 12(土)13(日)四旬節の黙想会・共同回心式 26(土)19:00復活の徹夜祭・洗礼式	6(日)11:00運営委員会 11(金)マリア会例会(懇談会) 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 19(土)要約筆記付きミサ 20(日)典礼委員会 20(日)教会学校・中高生会卒業式	4(金)世界祈禱日 19(土)助祭叙階式(神言会) 24(木)教区評議会